

2026

7/17

金



演題

現在の認知症診療 について



講師

高齢診療科
講師 廣瀬 大輔 医師



現在日本は超高齢社会であり、高齢者の増加とともに認知症患者も増加しています。介護要因の一番の原因は認知症で、患者さんのみならず医療者・ご家族様含む支援者など皆で対応する事が必要となります。近年認知症診療が大きな変化を遂げており、2023年アルツハイマー病に対する新しい治療（アミロイドβ除去薬）の登場により、早期の軽度認知障害の患者様への介入も可能となってきております。このような変化を踏まえて、これまで以上に認知症に対する知識を持つことが重要となっております。そのため、今回の講座は認知症についての基本的な知識から新しい治療薬について皆様にご説明いたします。

日時 2026年7月17日(金) 開場 17:00 開演 17:30 ~ 閉演 18:30(予定)

会場 東京医科大学病院 本館9階 臨床講堂 (最寄駅:丸ノ内線 西新宿駅)

申込 事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。

※尚、座席数に限りがございます(360席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。